



2019年9月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年5月9日

上場会社名 株式会社ETSホールディングス
 コード番号 1789 URL <https://ets-holdings.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三森 茂
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 中澤 文雄
 四半期報告書提出予定日 2019年5月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03(5957)7661

(百万円未満切捨て)

1. 2019年9月期第2四半期の連結業績(2018年10月1日～2019年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期第2四半期	2,606	6.4	43	25.9	44	22.1	30	30.6
2018年9月期第2四半期	2,784	22.1	59	84.3	57	86.6	44	86.3

(注) 包括利益 2019年9月期第2四半期 30百万円 (30.6%) 2018年9月期第2四半期 44百万円 (86.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年9月期第2四半期	4.80	
2018年9月期第2四半期	6.93	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年9月期第2四半期	3,860	2,147	55.6	337.13
2018年9月期	4,110	2,148	52.3	337.33

(参考) 自己資本 2019年9月期第2四半期 2,147百万円 2018年9月期 2,148百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年9月期		0.00		5.00	5.00
2019年9月期		0.00			
2019年9月期(予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年9月期の連結業績予想(2018年10月1日～2019年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,560	5.1	309	68.1	306	69.5	237	126.3	37.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年9月期2Q	6,375,284 株	2018年9月期	6,375,284 株
期末自己株式数	2019年9月期2Q	6,277 株	2018年9月期	6,277 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年9月期2Q	6,369,007 株	2018年9月期2Q	6,369,053 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、企業収益や設備投資の改善及び堅調な雇用環境が続くなか、景気は緩やかな回復基調で推移しましたが、米中貿易摩擦問題や英国のEU離脱など海外経済の不確実性により、景気の先行きは一層不透明な状況となっております。

建設業界におきましては公共投資・民間設備投資とも底堅く推移しましたが、依然として受注競争の激化や建設技能労働者不足が続くなど、経営環境は厳しい状況で推移しました。

このような状況のなか、当社グループは、工事量と利益確保の経営方針を継続し、グループを挙げて営業活動を積極果敢に展開するとともに、原価の低減、業務の効率化による労働生産性の向上に努めてまいりました。

以上の結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の受注高は26億2千6百万円（前年同四半期比32.2%増）、売上高は26億6百万円（前年同四半期比6.4%減）となりました。

利益につきましては、売上高減少に伴い売上総利益が減少したことなどにより、営業利益は4千3百万円（前年同四半期比25.9%減）、経常利益は4千4百万円（前年同四半期比22.1%減）となり、親会社株主に帰属する四半期利益は3千万円（前年同四半期比30.6%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(電気工事業)

電気工事業については、受注高は順調に推移したものの、前期繰越工事高が少なかったことなどにより、当第2四半期連結累計期間の受注高は26億2千6百万円（前年同四半期比32.2%増）、売上高は21億7千9百万円（前年同四半期比7.0%減）セグメント利益（営業利益）は5千7百万円（前年同四半期比36.4%減）となりました。

(建物管理・清掃業)

建物管理・清掃業については、受注の競争激化により売上収益率が想定より低下し、販売費及び一般管理費の削減に努めたものの、当第2四半期連結累計期間の売上高は4億2千7百万円（前年同四半期比2.9%減）セグメント損失（営業損失）は1千4百万円（前年同四半期は3千1百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ2億4千9百万円減少し、38億6千万円となりました。また、負債合計は、前連結会計年度末に比べ2億4千8百万円減少し、17億1千3百万円となりました。純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1百万円減少し、21億4千7百万円となりました。

資産の減少の主な要因は、現金預金8億6千4百万円の増加もありましたが、受取手形・完成工事未収入金等7億6千3百万円及び未収消費税等2億2千6百万円の減少によるものであります。

負債の減少の主な要因は、未成工事受入金3億2千8百万円の増加もありましたが、工事未払金5億5千9百万円の減少によるものであります。

純資産の減少の主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益3千万円もありましたが、配当金の支払額3千1百万円によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ7億1千4百万円増加し、15億4千1百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況と増加・減少の要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、9億1千7百万円（前年同四半期は2億1千6百万円の減少）となりました。この主な要因は、仕入債務の減少額5億5千9百万円がありましたが、売上債権の減少額7億6千3百万円、未成工事受入金の増加額3億2千8百万円及び未収消費税等の減少額2億2千6百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、1億6千7百万円（前年同四半期は1千2百万円の減少）となりました。この主な要因は、定期預金の払戻による収入2億5千万円がありましたが、定期預金の預入による支出3億5千万円及び定期預金の担保差入による支出5千万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、3千5百万円（前年同四半期は3千5百万円の減少）となりました。この主な要因は、配当金の支払額3千1百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年9月期の通期の連結業績予想については、今後の完工、受注予測を踏まえた結果、「2018年9月期決算短信（2018年11月14日付）で公表した連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	1,076,356	1,941,192
受取手形・完成工事未収入金等	1,964,668	1,201,219
未成工事支出金	130,019	31,797
未収法人税等	11,077	—
未収消費税等	226,135	—
その他	46,308	42,779
貸倒引当金	△1,638	△20
流動資産合計	3,452,927	3,216,968
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	373,167	373,317
機械・運搬具	390,168	402,660
工具器具・備品	169,016	174,289
土地	328,042	328,042
減価償却累計額及び減損損失累計額	△738,974	△764,678
有形固定資産合計	521,420	513,630
無形固定資産		
のれん	2,893	—
その他	13,236	9,954
無形固定資産合計	16,130	9,954
投資その他の資産		
投資有価証券	50,000	50,000
繰延税金資産	47,839	46,675
その他	29,972	29,366
貸倒引当金	△7,795	△6,006
投資その他の資産合計	120,017	120,035
固定資産合計	657,568	643,621
資産合計	4,110,495	3,860,589

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
工事未払金	1,297,278	737,420
短期借入金	300,000	300,000
未払法人税等	11,821	18,234
未払消費税等	10,544	30,382
未成工事受入金	92,607	421,176
賞与引当金	12,465	11,060
工事損失引当金	3,163	—
完成工事補償引当金	1,210	1,220
その他	139,911	113,297
流動負債合計	1,869,002	1,632,791
固定負債		
再評価に係る繰延税金負債	6,163	6,163
退職給付に係る負債	71,911	63,550
その他	14,975	10,889
固定負債合計	93,051	80,604
負債合計	1,962,054	1,713,396
純資産の部		
株主資本		
資本金	989,669	989,669
資本剰余金	763,694	763,694
利益剰余金	573,182	571,934
自己株式	△1,940	△1,940
株主資本合計	2,324,606	2,323,358
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	△176,165	△176,165
その他の包括利益累計額合計	△176,165	△176,165
純資産合計	2,148,441	2,147,193
負債純資産合計	4,110,495	3,860,589

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年10月1日 至2018年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2019年3月31日)
売上高		
完成工事高	2,344,365	2,179,843
不動産管理売上高	439,856	426,864
売上高合計	2,784,222	2,606,707
売上原価		
完成工事原価	1,951,394	1,823,569
不動産管理売上原価	324,855	323,809
売上原価合計	2,276,250	2,147,378
売上総利益		
完成工事総利益	392,971	356,273
不動産管理売上総利益	115,000	103,054
売上総利益合計	507,972	459,328
販売費及び一般管理費	448,778	415,488
営業利益	59,193	43,839
営業外収益		
受取利息	18	3
匿名組合投資利益	900	900
その他	1,526	3,137
営業外収益合計	2,444	4,040
営業外費用		
支払利息	2,410	2,515
支払保証料	293	—
その他	1,149	367
営業外費用合計	3,853	2,882
経常利益	57,784	44,997
税金等調整前四半期純利益	57,784	44,997
法人税、住民税及び事業税	12,934	13,235
法人税等調整額	736	1,164
法人税等合計	13,670	14,399
四半期純利益	44,113	30,597
親会社株主に帰属する四半期純利益	44,113	30,597

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)
四半期純利益	44,113	30,597
四半期包括利益	44,113	30,597
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	44,113	30,597

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年10月1日 至2018年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2019年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	57,784	44,997
減価償却費	27,423	28,986
のれん償却額	8,185	2,893
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3,440	△3,057
賞与引当金の増減額(△は減少)	△5,774	△1,405
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,930	△8,361
その他の引当金の増減額(△は減少)	△1,097	△3,153
受取利息及び受取配当金	△18	△3
支払利息	2,410	2,515
匿名組合投資損益(△は益)	△900	△900
売上債権の増減額(△は増加)	26,896	763,476
未成工事支出金の増減額(△は増加)	29,156	98,222
仕入債務の増減額(△は減少)	△63,654	△559,858
未払金の増減額(△は減少)	△16,263	△193
未収消費税等の増減額(△は増加)	—	226,135
未払消費税等の増減額(△は減少)	△239,777	19,838
未成工事受入金の増減額(△は減少)	97,708	328,568
その他	△84,134	△21,461
小計	△156,684	917,241
利息及び配当金の受取額	18	17
利息の支払額	△2,343	△2,263
法人税等の支払額	△61,119	△6,422
法人税等の還付額	3,486	8,671
営業活動によるキャッシュ・フロー	△216,644	917,243
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△12,884	△17,914
無形固定資産の取得による支出	△3,200	—
定期預金の預入による支出	△150,131	△350,143
定期預金の払戻による収入	150,120	250,133
定期預金の担保差入れによる支出	—	△50,046
その他	3,557	758
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,537	△167,214
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	400,000	400,000
短期借入金の返済による支出	△400,000	△400,000
配当金の支払額	△31,732	△31,573
リース債務の返済による支出	△3,813	△3,676
財務活動によるキャッシュ・フロー	△35,545	△35,249
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△264,727	714,779
現金及び現金同等物の期首残高	1,827,104	826,223
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,562,377	1,541,002

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2017年10月1日 至 2018年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	電気工事業	建物管理 ・清掃業			
売上高					
外部顧客への売上高	2,344,365	439,856	2,784,222	—	2,784,222
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	375	375	△375	—
計	2,344,365	440,231	2,784,597	△375	2,784,222
セグメント利益又は損失(△)	90,985	△31,791	59,193	—	59,193

(注) 1 売上高の調整額△375千円は、セグメント間取引の消去の額であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	電気工事業	建物管理 ・清掃業			
売上高					
外部顧客への売上高	2,179,843	426,864	2,606,707	—	2,606,707
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	405	405	△405	—
計	2,179,843	427,269	2,607,112	△405	2,606,707
セグメント利益又は損失(△)	57,865	△14,025	43,839	—	43,839

(注) 1 売上高の調整額△405千円は、セグメント間取引の消去の額であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。